

ふれあい

No.84
2022.4.15 発行



社会福祉法人 池上長寿園 羽田・糀谷事業部門

特別養護老人ホーム羽田
羽田高齢者在宅サービスセンター
大田区地域包括支援センター羽田



「新年度のご挨拶」

統括事業所長 千葉 真由子



2年前に比べて随分と進んだことがたくさんあるなあと感じる4月となりました。皆様にはまだまだ我慢していただくことの多いスタートではありますが、「新しい生活様式」の中で、うるおいや楽しみを少しでも感じていただけるよう、サービスの充実や地域活動を職員一同がんばって参ります。令和4年度も何卒よろしくお願いいたします。

特別養護老人ホーム羽田

施設長 岩月 里織



日頃よりご利用者様をはじめご家族や地域の皆様には温かいご支援とご協力を承り心からお礼を申し上げます。

4月より特養羽田施設長に就任いたしました岩月と申します。これまでは特養たまがわ・特養糀谷で介護チームを担っておりました。不慣れな所も多く至らない点ばかりだと思いますが、根本前施設長の作り上げたものを守りつつ、より一層地域に根付き、笑顔溢れた施設になるよう努力したいと思っております。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

羽田高齢者在宅

サービスセンター

1月、1階の皆様の手芸活動は、節分を前に、「鬼の壁画作り」を行いました。貼る作業が中心でしたが、眉、目、口等の角度で随分と印象が変わり、個性的な鬼がたくさん完成しました。



5階の皆様は、「ステンドグラス風飾り」を行いました。透明なCDケースの上から、サインペンでお好きな色に塗っていただきました。その後アルミホイルを挟んでいくと、想像と違った風合も出て、素敵な仕上がりとなりました。



2月3日の節分の日には、赤鬼青鬼が今年も来てくれました。『ご利用者よりも、職員から投げられた豆がいたかった』と、赤鬼より話がありました。来年も来てくれるそうです。楽しみに待ちましょう！



3月の5階の皆様は「桜のランプシェード作り」を行いました。ランプシェードとは、電球を覆う笠のことです。膨らませた風船に、ポンドを水で溶いたものをつけ、半紙を貼り付けて形にします。最後に風船を割って中身を取り出して完成です。



毎回思いますが、皆様の器用さと集中力が素晴らしいんです！今年度も様々な作品作りに取り組んでいきます。

行事の様子

皆さん一生懸命、鬼退治をしてくださいました。

鬼は外！
コロナも
飛んでいけ！

お盆

鬼もしっかり
感染対策！



ひな祭り



雛人形の前で記念撮影。皆さん、とても素敵な笑顔です。

お花見

庭や周辺に出での花見は叶いませんでしたが、ベランダから満開の桜を眼前に、春を満喫しました。

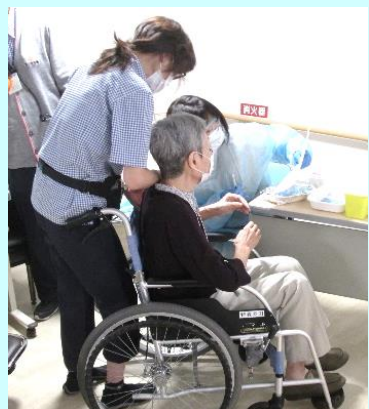


今年も中庭の桜が満開です。

早く外にも散歩へ行きたいわ



コロナワクチン集団接種(三回目)を行いました。



皆様ワクチン接種において大きな体調の変化はなく元気に過ごされています。



引き続き、施設内の感染対策を行っています。



地域包括支援センター羽田 シニアステーション羽田

地域包括支援センター羽田では、新型コロナウイルス感染症などの影響により、閉じこもり気味となり社会参加する機会が少なくなった地域の高齢者の認知症予防、フレイル予防などを目的に地域全体で何か取り組めないか検討を続けてきました。

その結果、令和4年3月から地域の高齢者の認知症、フレイル予防や社会参加の促進、地域力活性化への取り組みとして、「羽田・萩中ウォークラリー」を開催する事になりました。

羽田地区は、古くから漁業が盛んで、遠い昔より人々は身の安全、生活の安定を神仏に心をこめて祈ってきました。羽田地区の周辺には漁業と関わりのある寺社、稲荷、記念碑などがたくさん残されています。その昔の街道、行商路を巡り、寺社に立ち寄って故事をひもときながら気持ちのいい汗を流してもらおう事ができる取り組みになっています。

9か所のチェックポイントを巡ることで、高齢者の方はフレ



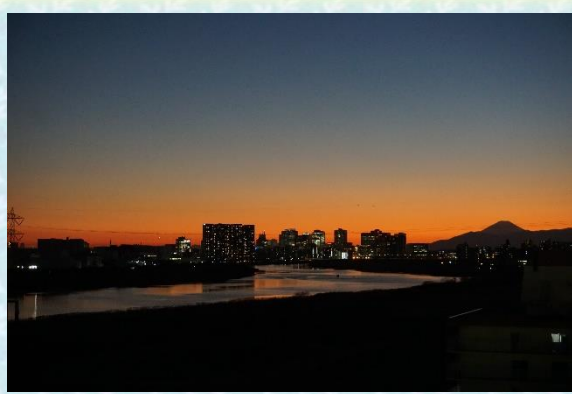
イル予防に取り組む事ができ、他の世代の方には地域を知って頂く事ができます。羽田・萩中ウォークラリーのパンフレットは地域包括支援センター羽田、羽田特別出張所、羽田図書館に設置していますので、皆さんも機会があれば是非、手にとって頂き、参加してほしいと思います。

特養羽田家族会
会長 藤城 昌行

家族会会長の藤城です。不穏な世相背景の中でも時は移り行き、特別養護老人ホーム羽田も新年度を迎えました。互いの絆を深めることが難しい環境ですね。何しろ集団行動を制限される環境下では、情報交換も壁一枚を隔てた、歯痒い状況を余儀無くされているのですから…。そんな中でも施設職員の皆様は、施設ご利用者様の日常を確かに支え、維持してくれています。

話は変わりますが、北京オリンピックの過去を凌ぐメダルラッシュは見事なものでした。次元は違えど、オリンピックも施設も着実な日常の積み重ねが、結果や成果に結びつくものと考えます。悲観した感情を廃し、明日を信じていけば、ご利用者様の明るい笑顔に再び出会えと信じ、直接的に行動出来ない私達も、明るい感情を送り続け、施設全体を包み込んでいくのではありませんか。今だからこそ。

《編集後記》
段々と日が伸びて、桜も咲き、春を実感しています。施設屋上からは、夕焼けと富士山、多摩川の景色がとても綺麗に見えます。



3月、屋上より (撮影 根本)

新しい施設長のもと、新人職員と共にフレッシュな気持ちで職員一丸となつて今年度も頑張りますので、よろしくお願い致します。
令和4年4月15日発行
羽田事業部門 地域貢献委員会

【人事異動のお知らせ】

《特養》
新規採用職員

和田 彩花
石引 成紀

着任 岩月 里織 (施設長へ)

転出 根本 俊弘 (経営本部へ)